



特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成22年2月末現在)

企業数 28社
雇用数 939人

TSYS® 世界最大級のカード決済業務会社 ティーシス・ジャパン株式会社

ティーシス・ジャパン株式会社

TSYS Japan Co., Ltd.

【本社所在地】

東京都渋谷区渋谷 3-27-11

【資本金】

8億 8692万 9750円

(2009年12月25日現在)

米国トータル・システム・サービス・インク社の出資による100%子会社

【設立】2003年

【事業内容】

クレジット、デビット、プリペイドなど各種
ペイメントカードにかかわるプロセッシング
(決済処理)業務ならびに関連業務の代行

【ホームページ】

<http://www.tsys.com/jp/>

名護市内の拠点

平成20年10月

沖縄データセンターを開設

(事業内容)名護市内に置かれたメインコンピュータから通信回線を使ってカード決済処理を行う。同社のデータセンターはこれまで米国と英国のみに置かれ、本拠点はアジアで第1号。



沖縄オペレーションセンター開設

(事業内容)クレジットカードに関するお客様からの問い合わせ対応やクレジットカード会員の入会受付事務業務などを行う。



多言語・複数通貨の決済処理サービスを提供する日本唯一の企業

クレジットカードやプリペイドカードなどの「ペイメント・カード」を利用した支払方法が早くから一般に普及した欧米では、銀行などに代わってカード決済処理業務を専門的に行うビジネスが生まれ、その後も様々なカード関連サービスへと広がりをみせながら、今や「ペイメント・ビジネス」として金融業界の一角を占めている。

ティーシス・ジャパン株式会社(ティーシス)の親会社であるトータル・システム・サービス・インク社(TSYS)も、80年代から決済業務を取り扱い、技術革新とM&Aを戦略的に進めながらグローバル企業へと成長した。現在は7言語・16の通貨に対応した世界最大手の企業の一つとなっている。その子会社として03年に日本で設立されたティーシス社は、日本国内のみならず急成長を遂げるアジア太平洋地域のカード市場を視野に入れたビジネス展開を図っている。

名護に2つの拠点を開設

そのティーシス社が、平成20年10月、アジア地域初となる同社データセンターを名護市に開設した。同社の近藤均社長は「沖縄がアジアに近いこと、名護市の美しい館の施設が良質」である事が進出の決め手になったと、当時のインタビュで答えている。それから1年半を経て、今月から新たに「沖縄オペレーションセンター」が稼働する。同センターでは既に28名が採用されており、2月から3月にかけて研修を受け、業務の開始に備えていた。

オープニングスタッフには、スーパーバイザー(主任級)が6名含まれており、難度の高い問い合わせへの対応、ソフト管理、社内外担当者との窓口対応などの業務に就く。コミュニケーションはフルタイムとパートの両方の形態で採用があり、主にクレジットカードに関する顧客からの問い合わせ対応、クレジットカード会員の入会受付事務業務、架電業務等を行う。

若手の未経験者も挑戦を

みらい3号館(豊原)に開設されたオペレーションセンターでは、今後もコミュニケーションが求められる予定で、採用後の研修では、ビジネスマナーに始まり、クレジットカードに関する様々な専門知識、同社独自のシステムで動く端末の操作方法の指導が行われ、基礎から実用スキルまで習得できる内容となっている。同社で採用を担当する石嶺のぞみ氏は「研修があるので、コールセンターやクレジットカード関連の業務経験者以外の未経験者の方にもぜひコミュニケーション職に挑戦してほしい」と語った。





エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社

代表取締役社長 **桜井 伝治 氏**

「多くの人に活躍の場を提供したい」と挨拶

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成22年3月末現在)

企業数 **28社**
雇用数 **961人**

働き方の新たなモデル (ワークスタイルフリー)

エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社

【業務概要】

- 研修・人材育成事業
- ICT アウトソーシング事業
- 販売推進事業

【創立】

2002年11月22日

【株主】

NTT コミュニケーションズ 100%

【所在地】

東京都港区新橋1丁目18番16号
日本生命新橋ビル7階

【会社ホームページ】

<http://www.nttcheo.com/>

(※1)CAVA スタッフとは

ITスキルを活かしてインターネットの案内役となるスタッフのこと。お仕事は、自宅を中心に行うインターネットプロバイダー向けのテクニカルサポート業務。

(※2)ドットコムマスターとは

NTT コミュニケーションズが実施する資格。社会で必要なIT知識を特定の分野に偏らず、基礎から体系的・網羅的に知識を身につけることができる。

【本記事へのご意見・ご要望】

名護市政策推進部
金融・情報特区推進室
【マルチメディア館内】
☎ 0980-55-3333
FAX 0980-55-3332
✉ itf@city.nago.okinawa.jp

エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社は、2002年にITスキルを有する人材を育て、新たな就業機会を創出し、これらを有効に活用することで、IT社会におけるビジネスをサポートしていくことを目的に東京において設立。全国で約900名の在宅CAVAスタッフ(※1)がいる。2007年に名護市産業支援センターに進出し、「ドットコムマスターシングルルスター」(※2)等のITスキルを有した個人と当社が業務委託契約を結び、インターネットプロバイダー向けの「在宅電話サポート業務」を行っている。

この度、市内において2つめの拠点として、琉球ジャスコ名護店内において、「名護CAVAトレーニングセンター」を開所し、4月6日に同センターの開所式が開催された。

—— 新たな拠点の開所について

「在宅電話サポート業務」を始めたきっかけとして、インターネットの急速な普及により、インターネットのテクニカルサポート業務を行うスタッフが不足していた。そのため、通勤が困難な方や子育て中フルタイムとして働けない方などに、活躍の場を提供したいと代表取締役社長の桜井伝治氏。これまで、名護

市の産業支援センターにおいて、事務所を構えているが、今後、同業務の拡大等も見据え、自宅でサポート業務を不安なく行うための助走期間が必要であるため、この度、名護CAVAトレーニングセンターの開所が実現した。

また、桜井社長は、「CAVAのスタッフは、女性の就業率が多いため、「働く場」と「暮らす」の場のバランスを考えて、琉球ジャスコ名護店内の事務所を選定した」と述べ、働く人の利便性を重視している。

—— 自分のライフスタイルに合わせて

これまで、北部地域においては、12名のCAVAスタッフがおり、今回、新たにスタッフとなった5名の紹介がなされた。その一人である赤嶺さおりさんは、「子供が小さいので、自分の生活スタイルに合わせて働けることが魅力。『ドットコムマスター』等の試験前は、子供を早く寝かしつけて、試験勉強に力を入れた。早く、お客様に対して一人前の対応できるように努力したい」とやる気を出している。CAVAスタッフは、サポート受付時間である9時~21時の間で好きな時間に働くことができる自由度の高いシステムになっている。

—— 今後の展開について

薄和夫事業部長は、「現在のネット社会では、サービス形態が多様化している。そのため、テクニカルサポートの内容も日々、変化してくる。」と述べつつ、「名護CAVAトレーニングセンターがトレーニングの場に留まるのではなく、絶え間なく、北部の人材が育成され、テクニカルサポートとして自立し、そのメンバーが後輩たちを育成できる場になりたい」と述べた。



トレーニング風景
トレーナー(左)からアドバイスを受けながらの実践研修。



CAVAスタッフの紹介
新たなスタッフの紹介。
全員、北部在住者。



株式会社 赤坂共同BPO

シニアマネージャー 喜納 真子氏

今帰仁出身で名護在住。数多くの資格を保有し、「知識」+「実践」を兼ね備えている。



金融・情報特区の企業と雇用 平成22年10月末現在	
企業数	28社
雇用者数	861名

無駄な知識は一つもない! (向上心をもった事務職のプロ集団)

東京にある税理士法人 赤坂共同事務所を親会社として、平成21年9月にビジネス・プロセスアウトソーシング(BPO)業務の受託を主な業務とする株式会社 赤坂共同BPOが名護市内に設立された。ビジネス・プロセスアウトソーシング(BPO)とは、顧客の業務向上を目的に、業務の一部のプロセス(経理や総務等)を外部に委託する手法で、近年、国内においても多くの企業が同手法を活用している。

……会社の設立経緯について……

名護にBPO事務所を設立した経緯として、株式会社 赤坂共同BPOの代表取締役である宝金 正典氏が、4年前に社員旅行で沖縄を訪れ、その際にアジアの中心にある沖縄の地味な可能性やホスピタリティー溢れる沖縄の「人材」に惚れ込み、沖縄での事業展開を検討し始めた。現在のBPO業務は、ネット環境をフルに活用し、必ずしも東京にオフィスを構える必要がない。近年、沖縄でもBPO業務が増えている中で、ネット環境やインフラの整備状況だけではなく、人材の豊富さという観点から、名護にオフィスを構える運びとなった。

……入社に至る経緯……

シニアマネージャーである喜納 真子氏は、今帰仁村の出身であり、経理簿記等に興味があり、中央大学商学部会計学科を卒業した。大学を卒業後も東京において、経理事務所や税理士事務所を経て、キャリアを積み沖縄に戻ってきた。これまでの経験を活かし、専門学校講師等も行っていたが、「人に教えながら、実践もしたい」という強い思いがあった。その時に、「知識」+「実践を行う」という経営方針の同社に共感し、入社に至ったわけである。現在では、株式会社 赤坂共同BPOと同じ事務所内に、株式会社 名護アカウンティングカレッジも設立しており、同カレッジの副学長も勤めている。

……人を育て、成長する企業……

現在の主な業務としては、親会社の赤坂共同事務所からの顧客の給与計算や労務に係るデータ入力を行っている。しかし、顧客は自らの知識では対応できない経理業務や総務業務等の案件を依頼してくる。そのため、業務に必要な知識が膨大になる。名護という場所で業務を行っていることも東京と同じ品質の業務を求められることは当然であり、

また、プロ意識を持って対応する必要があるため、日々勉強が必要となる。また、東京の赤坂共同事務所との業務のやり取りは、税理士や公認会計士の資格を保有した先生方と行うため、無駄な知識は一つもなく、「学ぶ意欲」「学ぶ姿勢」が必要と喜納氏。喜納氏自身も、税理士試験 簿記論や日商簿記検定1級、税務会計検定 所得税 消費税1級などの多くの資格を保有しているため、シニアマネージャーとして、他社員への勉強会を開催するなど、社員の育成も積極的にしている。また、保険募集人の資格試験についても、全員でチャレンジする予定となっており、各々のスキルアップの向上に努力している。

……今後の展開について……

今後は、東京からの業務を請負だけではなく、沖縄県内にある企業からの業務も行い、地元の人材を育てながら、事務所を大きくしていきたい意向である。通常、顧客は税務については税務士に相談し、労務については社労士に相談するが、「税務」+「労務」を一括で引き受けられる事務職の総合的なワンストップサービスを提供できるように、成長したいと意気込んでいる。

株式会社 赤坂共同BPO

【業務概要】
●ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)業務

【創立】平成21年9月

【所在地】
名護市宮里 453-7
大宮総合開発ビル2F



親会社(東京)とのTV会議
業務の現状等を週1で会議



各パソコンにはWebカメラを設置
東京とのやり取りの際に役立つ



全従業員は4名。お互いに試行錯誤しながら業務を行っている。

【本記事へのご意見・ご要望】

名護市政推進部
金融・情報特区推進室
☎ 55-3333
FAX 55-3332
✉ itf@city.nago.okinawa.jp



株式会社NTT西日本-九州沖縄支社
名護104センタ

コミュニケーター 伊良波 真緒さん

名護104センタの代表として、
社内電話対応コンクールにも出場

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成22年5月末現在)

企業数	29社
雇用者数	989名

みんなが知っている電話番号案内の「104」
～名護のホスピタリティ精神を声にのせて～



名護センタにおいて1日に6,000件の問い合わせを対応。業務開始前には、滑舌をよくするためのボイストレーニングを行っている。



城田センタ所長、伊良波さん、大城さん
業務に対する悩みや不安について、話しやすい環境で働きやすい。

株式会社 NTT 西日本 - 九州 沖縄支社名護 104 センタ

【業務概要】
・104 番号案内業務

平成11年4月に名護市に進出。従業員は38名で、所長以外はすべて女性。従業員同士で、お互いを気遣いながら、業務を行っている。従業員の定着率も高く、業務に係る情報交換を欠かさない。

【所在地】
名護市豊原 224 番地 3
名護市マルチメディア館内

【本記事へのご意見・ご要望】
名護市政策推進部
金融・情報特区推進室
【マルチメディア館内】
☎ 0980-55-3333
FAX 0980-55-3332
✉ itf@city.nago.okinawa.jp

「電話番号が分からない」と思った時に「104」に電話をした経験のある方は非常に多いのではないのでしょうか。東京都内におけるお客様からの電話番号の問い合わせに対して、電話番号案内を行っているのが、株式会社NTT西日本九州沖縄支社名護104センタです。同センタは、平成11年に名護市マルチメディア館に進出し、名護市におけるコールセンターの草分けです。コールセンターの営業業務は、朝の8時半から夜9時までとなっており、1日に約6,000件の問い合わせを年中無休でご案内しています。

今回は、同センタに入社して6年目の伊良波真緒さんにインタビューをしました。

伊良波さんは、名護市宮里のご出身で、結婚・出産・子育てを経て、ひと段落した際に仕事をしたいと思っていたそうです。その当時、名護市を含め、沖縄県内にコールセンターの企業が多く進出しており、就職する際の選択肢として興味があり、コールセンターの講座を受講したことが入社へのきっかけとなったわけです。同センタに入社する前までは、コール業務に携ったことはなく、パソコンの操作も初心者であり、そこからのスタート

とだったようです。

―研修について―
(伊良波さん)入社後の研修は、パソコンのキーボード操作から、言葉づかいなどを含む一般的なコールトレーニングの研修が3週間ありました。研修中も悩んだり、戸惑った部分もありましたが、同期のメンバーで励ましあいながら、研修を終えました。

―業務について―
(伊良波さん)当初は、東京の地名を言われても「ピン」と頭に入ってこなかったり、聞き間違いなど、緊張の連続でした。また、内容をよく把握できない時は、こちらから積極的にお尋ねし、情報を引き出すテクニクも身につけてきました。また、お客様はまさか名護(沖縄)において案内をしているとは思っていないため、神経を使う部分もあります。

―業務スキルの向上について―
全国にある104のコールセンタにおいて、業務スキルの向上のため、1分間の打ちこみ数を競うタイピングコンクールや的

確な電話対応が行えているかを競う対応コンクールが年に1回開催されています。

(伊良波さん)今回、名護104センタの代表として、電話対応コンクールの社内大会に出場しました。このコンクールは、住所と名前を間違えずに聴いて、入力し、検索をするプロセスやスムーズな電話対応が試されます。日々、どれだけ誠意をもって、業務を対応しているかが重要であり、その積み重ねの大切さを痛感する大会でした。

―今後の抱負―
(伊良波さん)このコールセンター業務は、電話のみでお客様と会話をするために、他の業種よりも、声のトーンや話の間の取り方などから察知する「気づく力」が養われます。また、様々なお客様と応対するため、お客様に合わせた案内が必要となり、入社して6年経った今でも極めることが難しい奥深い業務と実感しています。私たちの104という業務は、1件に係る処理の時間は、約35秒程度という中ではありますが、一期一会の精神で、お客様に誠意をもって対応し、より良い案内をしていきたいと思っています。

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成22年6月末現在)

企業数	29社
雇用者数	996名

海洋科学技術を見て・体験して・学ぶ! ～神秘の世界へようこそ～



国際海洋情報環境センター 管理課

島袋 庸雄さん **赤嶺 公子さん**

入社3年目。地域との関わりを大切にしながら、地域に根ざしたセンターを目指す。名護市久志区のご出身。
入社9年目。開所からセンターと共に成長中。現在は、広報をメインとして、活躍中。名護市港区のご出身。



多くの方々に、深海や地球環境について、知ってもらうために多くのイベントを手がける。



深海の世界は、まだまだ未知の世界です。3D映像や圧力実験などで深海を体験できます。

独立行政法人海洋研究開発機構 国際海洋環境情報センター

【センターの開所】
平成13年11月

【センターの紹介】
国際海洋環境情報センターは、独立行政法人海洋研究開発機構が名護市国際海洋環境情報センター施設・設備の管理委託を受け、世界の地球観測データも含め情報・加工・発信する新たな拠点

【所在地】
名護市豊原224番地3

【ホームページ】
<http://www.godac.jp/top/>

【本記事へのご意見・ご要望】

名護市政策推進部
金融・情報特区推進室
【マルチメディア館内】
☎ 0980-55-3333
FAX 0980-55-3332
✉ itf@city.nago.okinawa.jp

今回は、名護市豊原にある深海映像の貴重な研究資料のデジタル化や、ウェブサイトを通過して海洋・地球環境情報の提供などを行っている国際海洋環境情報センター取材しました。センターには、深海生物の標本や海洋調査船の模型などが展示されているだけでなく、3D映像や深海の水圧の実験ができるなど、海洋科学技術や地球環境変動について、分かりやすく学べるセンターです。

最先端の海洋科学技術に関するセミナーや子供達へのイベントなどを企画から広報活動までを手がけ、一人でも多くの方々に地球や海洋のことを知ってもらうために、東奔西走している島袋庸雄さん、赤嶺公子さんを紹介いたします。

島袋さんは、久志区のご出身でもあり、平成14年から平成20年の6年間、区長を勤めた経験を活かしながら、地域とのパイプ役として3年前から勤務しています。また、赤嶺さんは、港区の出身であり、名桜大学で観光産業学科を専攻し、学生時代に沖縄の観光資源である「海」に興味をもち、大学卒業の

タイミングで採用され9年勤務しています。

地域が誇れるセンターとして――
(赤嶺さん)年々、来館者が増加しており、昨年度は年間約1万5千人の方が訪れてくださいました。小学生の社会見学や老人会の見学など、幅広い年齢層の方々からセンターを訪れています。平成13年11月の開館から、累計9万7千人の来館者があり、近いうちに10万人を突破する勢いで嬉しい限りです。

(島袋さん)センターでは、深海の未知の世界から採取した生物の標本や世界的にも珍しい映像なども多く保有しています。来年は、開館から10年目を迎える節目の年となりま

す。地域に根ざし、社会貢献を継続して行うことが、使命だと認識しています。地域の方々がこのような最先端の技術を紹介しているセンターを誇りと思えるように、様々な取り組みを行っていきたくと思っています。

―センターの取り組み内容について―
(赤嶺さん)館内(月曜・祝日は休館)につい

ては、無料開放しており、夏休みや春休みには、多くの子供たちが海や地球に関することを体験しながら学習できるイベントはもちろんのこと、大人向けにも最先端の海洋科学技術に関するセミナーも実施しています。毎月、イベントを実施しているので、多くの方々の参加をお待ちしています。

(島袋さん)イベントを開催するにあたり、人集めについては、苦勞する部分もあります。しかし、地元出身という強みを活かし、支那区長会での周知活動や人的ネットワークを活かしながら、PRを行っています。

―将来の大きな目標―
同センターに訪れる地域の子供たちが、目を輝かせて実験をしたり、話を熱心に聞いたりする姿を見るとやりがいを感じます。子どもたちがセンターで体験したことを通して、地球や海洋に関する興味・関心を持ち、将来、海洋学者などになってもらえれば!という大きな思いを持ちながら活動しています。

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成22年7月末現在)

企業数	29社
雇用者数	984名

証券会社のパイオニア 「沖縄だから出来ること」 へのチャレンジ!



安藤証券株式会社
商品本部 エクイティ部
DG現物チーム

新崎 貴紀さん

沖縄工業高等専門学校メディア情報
工学科を3月に卒業し、4月に入社をし
た20歳の新人社員。若手ホープとして
奮闘している。名護市東江のご出身。



東京証券取引所の現物株を取り扱っている。



サブマネージャー 平山 未希さん
入社5年目で、デリバティブチームのリー
ダーを行い、後輩の育成に力を注いでいる。



社会人として、仕事もプライベートも両立
させ、一人前になりたいと目を輝かせながら
語ってくれた。

安藤証券株式会社

明治41年に名古屋にて創業。100
年を超える歴史をもち、日本の証券会
社で初めてのFX(外国為替証拠金サ
ービス)に進出するなど、多様性を導ぶ
成熟企業。

平成18年には資金運用・バックオ
フィス業務等を行う美らヒルズ・マネジ
メント株式会社も名護市において設
立。

【沖縄営業所在地】

名護市豊原181番地 みらい3号館2F

【取扱業務】

- エクイティ・トレーディング業務
- インターネット・サポートセンター業務
- コールセンター業務

【ホームページ】

<http://www.ando-sec.co.jp>

【本記事へのご意見・ご要望】

名護市政政策推進部

金融・情報特区推進室

【マルチメディア館内】

☎ 0980-55-3333

FAX 0980-55-3332

✉ itf@city.nago.okinawa.jp

創業明治41年と百年以上の歴史を誇り、名
古屋・東海地域を中心に着実に成長を続けて
いる証券会社の老舗である安藤証券沖縄營
業所を取材しました。平成21年の9月から名
護市豊原にある特区関連施設のみらい3号
館において営業を開始しています。同営業所
は、安藤証券内において「24時間化を支える
とともに、名古屋・東京が地震等の大規模
災害に被災した際の事業継続における重要
な役割を担う目的で設立されました。また、
世界的に見ても「金融のフロントオフィスは
各国の首都」が常識ですが、情報化の進展に
より、情報技術を活用することで、「地方だ
からこそ出来ること」へのチャレンジを実践
し、沖縄になかったビジネスで地域の若者
に夢を与え、知やスキルを集積し、沖縄に
根ざした産業を目指しています。

今回は、沖縄工業高等専門学校を3月に卒
業し、4月に入社した新人社員である新崎
貴紀さんを紹介いたします。

— 入社後のきっかけ —
(新崎さん)自分が生まれ育った環境の中で、
証券会社を身近に感じることはなかったの
ですが、金融業に興味をもっていました。そ
のため、就職活動を行っている際に、安藤
証券の企業説明会や先輩方の話を聞くこと
により、将来性を感じて応募しました。

— 資格取得について —
(新崎さん)株式をはじめ有価証券の勧誘や
売買などの証券業務に携わる場合、証券外務員
の資格が必要となります。そのため、内定
を頂戴した段階から、証券外務員の資格を
取得するために、参考書等を購入して勉強
に励みました。初めて金融という分野に触
れるため、非常に難しかったです。しかし、
自分がやりたい仕事だったので、新しいこ
とにチャレンジし、自ら学ぶことは非常に
遣り甲斐がありました。入社して後に証券
外務員の資格を取得しました。

— 入社後について —
(新崎さん)入社後の2カ月間は、本社があ

る名古屋と東京本部において、社会人として
のマナーやコンプライアンス(法令遵守)、配
属される部署についての研修を受けました。
6月から名護に戻り、沖縄営業所の商品本部
エクイティ部 デイリーリンググループ現
物チームに所属しています。デイリーング業
務とは、会社の自己資金を使って、株式など
の金融商品を売買し、それによる売買益を獲
得する業務です。現在は、資金運用について、
先輩と1対1で実践を行いながら、具体的
な業務の知識や技術などを教わっています。

— 今後の抱負について —
(新崎さん)学生時代との大きな違いは、年
齢層の異なる先輩方と接することで、これ
までと違う視点でアドバイスを頂くことで、
自分自身の視野がグーンと広がっていくこ
とを日々、実感しています。この仕事を通
して、世界の経済情勢などをタイムリーに
知ることができ、その情報収集の仕方も幅
広い方法で行えることが魅力です。まずは、
業務について独り立ちすることを目標とし
て日々、頑張っています。